

筆でかこう*墨～書き初め～ 1月の活動報告

Vol. 112

2024年2月号

1月23日に、筆でかこう*墨～書き初め～がありました。

普通の書き初めとは違い、いろいろな色の顔彩（固形の絵の具）や筆ペンを使って、好きなように絵をかいたり、自由に書くことができます。

きれいな字のお手本や、デザインやイラストの本を見ながら、書きたい文字や絵など、それぞれが表現したいものを書きました。

☆☆
生きる
! ☆☆

私は「生きる！」と書きました。書き出した文字は短いけれど、楽しく生きる、推しのために生きる、健康に生きる、好きな事をして生きたいなど、色々な意味を込めました。

墨汁を使って書くのが小学生以来だったので、うまく書けるか不安でしたが、新年に心機一転、今年目標を文字に書くことが出来て、楽しかったです。

C.M

外出に向けてのプチ講座

印象派とは

1月の活動報告書

Vol. 112

2024年2月号

今月の東京都美術館への外出へ向けて、ゆりの木で印象派のプチ講座に登壇させて頂きました。“印象派”とは何でしょう？絵や画家の名前はなんとなく知っているけれど、具体的には分からない…。そんな疑問に答えるべく、講座では印象派についての基本情報や前後の歴史についてお話ししました。また、美術館へ行った経験があまりない方もいらっしゃる事から、どう美術館を楽しむかについても語らせて頂きました。

一口に“印象派”と言っても、予定された1時間に情報を収めることは簡単ではありません。美術館の楽しみ方も人それぞれで、正解というものが存在しません。如何に時間内に、そして今後の身になる情報を伝えられるか。資料を書いては消し、作っては並べ替え、の繰り返しでした。発表中も若干の不安がありましたが、発表後は参加して頂いた方々から、為になった、美術に興味を湧いた、との感想を頂きました。私は、今後も皆さんがもっと美術について興味を持って頂ける事を思うと、計り知れない喜びを感じました。講師冥利に尽きるというものです。

東京都美術館の印象派展は、今年4月7日まで。お時間のある方、ご興味のある方は是非一度訪れてみて下さい。(WS)



外出 1月の活動報告

Vol. 112

2024年2月号

1月は約半年ぶりに外出プログラムがありました。外出プログラムは「企画」「準備」「外出」の3回に分けて構成されています。

「企画」で行き先を決め、「準備」で当日のスケジュールなどを決め、「外出」で実際に外出します。

今回の行き先は東京都美術館。「印象派 モネからアメリカへ」という展示を観に行きました。行きの電車で美術に詳しい利用者さんに印象派について教えてもらい、解像度が高まった状態で鑑賞することができました。



個人的に特に印象に残ったのは、クロード・モネ「睡蓮」、アンデシュ・レオナード・ソーン「オパール」、久米桂一郎「秋景」でした。

感想共有の時間もとても楽しかったです。他の人の感想を聞くことで新たな観方を知ることができました。

鑑賞後、空や雲、鳥、木々がいつもより美しく輝いて見えたのを覚えています。とても充実した時間を過ごすことができました。M

初詣

1月の活動報告

Vol. 112

2024年2月号

新年明けて初日の1/4（木）午後、新百合ヶ丘駅そばの、十二神社に初詣に行きました。出発前にスタッフから聞いた十二神社についての説明によると、この神社では食物の神様を祀られており、狛犬などの石像に。他の神社にはない特徴があると聞きました。

どのような石像か、楽しみにしながら外に出ると、寒くても日差しはあたたかで気持ちよかったです。神社の前には階段があり、正月明けの良い運動になりました。石像は、女性の神様が人参と稲をかかえており、珍しかったです。

道中は程よい距離を歩きながら、久しぶりにお会いした皆さんと会話もはずみました。それぞれの年末年始を過ごした皆さんの表情は晴れやかで、新年に向けた希望や意思を感じられました。年明けの散歩を楽しんだ後は、坊主めくりとカルタをやりました。坊主めくりは最後までハラハラし通しで、カルタは微妙な戦略？かけひきを感じられ、これも楽しかったです。新年早々、楽しい活動のスタートとなりました。 T





レクリエーション

1月の活動報告

Vol. 112

2024年2月号

1月15日に『レクリエーション』のプログラムに参加しました。毎回違ったゲームを講師の方が用意してくださり、“今日は何をするのかな”と楽しみなプログラムです。

今回は、年初めの回という事もあり、筆ペンを使って、漢字を書きました。ペアになってそれぞれ今年の抱負について話し合い、そこから連想した漢字一文字を決め、一筆ずつ交代で書いて完成させました。

漢字を決めるまでの話し合いも、相手によって内容や選択の仕方が違い、話が横道にそれるのもまた楽しい時間でした。

一画ずつ交代で書くので、相手がどうしたいのかなーと想像したり、予想外な一画があったり、線の勢いやかすれなどで個性が出たり、完成した作品も味のあるものばかりでした。

抱負を語り合うことで、自分自身も新たな気持ちになれ、和やかでゆったりとした時間を過ごすことができました。(f)

